

## 医師の紹介

昨年10月以降に着任した医師を紹介します。  
どうぞよろしくお願いたします。

整形  
外科

**黒田一成** ●くろだ かずなり

専門・得意分野 関節外科、股関節、関節リウマチ

資格等 整形外科専門医・リウマチ医

趣味・特技 硬式テニス

Message

丁寧な説明を  
心がけています。  
股関節の痛みが  
あればどんどん  
ご相談ください。



整形  
外科

**井上 啓** ●いのうえ けい

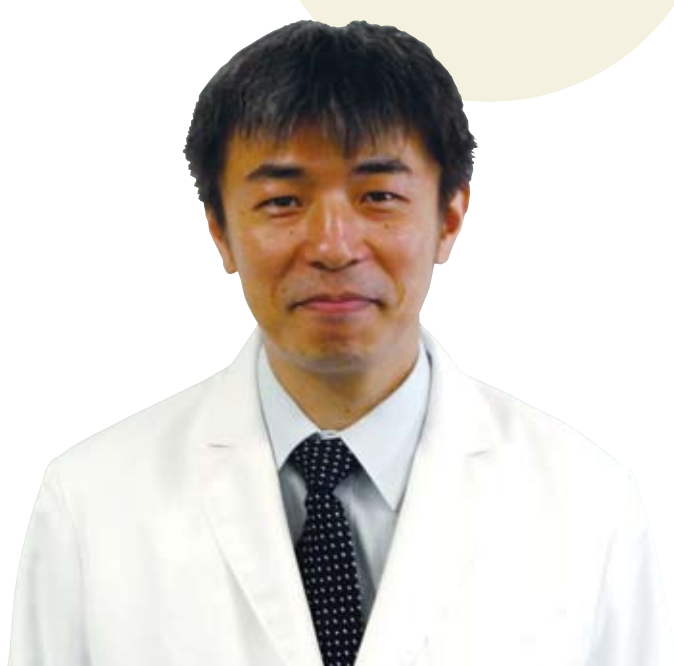
専門・得意分野 脊椎脊髄外科

資格等 整形外科専門医

趣味・特技 スキー、ジョギング

Message

患者様の痛みをわか  
ろうとする姿勢を大切  
にしています。腰痛、  
下肢痛でお困りの方  
はご相談ください。

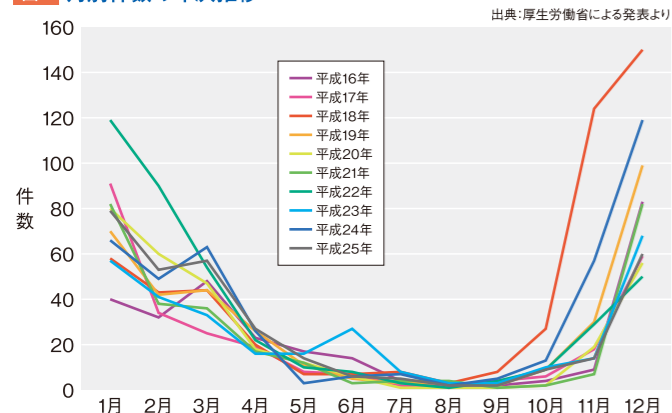


### CONTENTS

- 医師紹介
- 家族が感染性胃腸炎になったら…
- トピックス

# 家族が 感染性胃腸炎 になったら…

図1 月別件数の年次推移



## 感染性胃腸炎、その原因と感染経路

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。ウイルス感染による胃腸炎が多く、毎年秋から冬にかけて流行します。今年は、平成18年以来の流行と言われ、新型ノロウイルスの発生もニュースとなっています。(= 図1)

原因となる病原体は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫もあります。感染経路も以下のように多岐に渡ります。

- 接触感染:** 病原体が付着した手で口に触れる
- 経口感染:** 病原体で汚染された食品を食べる
- 塵埃感染(じんあいかんせん):** 床や衣類などに付着した乾燥に強い病原体を埃と一緒に吸い込む

他にも、おう吐物処理時や汚染した便座などで感染することがあります。おう吐物や下痢便を処理する際は、汚染した部分より広くふき取りをすることが大切です。(=「おう吐物の処理方法」を参考にしてください。)



## 症状と治療

### 【ノロウイルスによる胃腸炎】

**潜伏期間:** 約1~3日  
**主な症状:** 吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛など  
 ※小児(ロタウイルス)はおう吐、成人(ノロウイルス)は下痢が多い。  
**症状が続く日数:** 約1~2日

また、ロタウイルスによる胃腸炎(特に小児に多い)は、おう吐、下痢、発熱(約5~6日間)がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もありますが、周りの人を感染させてしまう場合もあるので注意してください。

治療は、症状に応じた対症療法(点滴や投薬)が行われます。また、下痢止めを服用すると逆効果となります。体内にあるウイルスを早く出し、胃腸を整えるほうが回復は早いでしょう。

乳幼児や高齢者は脱水症状を生じることがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者がおう吐している場合は、おう吐物が気管に入り、誤嚥(ごえん)性肺炎を起こすことがあるので、注意してください。おう吐がおさまったら、少しずつ水分を補給し、消化のよい食事を心がけましょう。薬局などで販売されている経口補水液(大塚製薬:OS-1など)は、胃腸炎で弱った胃に優しく浸透するので回復の際の補給におすすめです。



## 受診時の注意

受診する際は、医療機関のトイレや床などにおう吐・下痢をしたことで感染を拡大させてしまう場合があります。飲み物が飲める場合は、無理に受診をしないで自宅で安静にし、症状がおさまるのを待ちましょう。

## おう吐物の処理方法

処理を行う人が感染しないように注意しましょう。

**必要物品:** ビニールエプロン(または袖付き)、マスク、手袋、消毒薬、ビニール袋、ペーパータオルや不要な布、新聞紙、バケツ

- 1 エプロン、マスク、手袋をつけて、感染防護します。
- 2 消毒薬を準備し、おう吐物にも消毒薬を含ませませす。
- 3 新聞紙や使い捨てのペーパータオルでおう吐物を覆います。
- 4 ビニール袋を2重にセットし、おう吐物を新聞紙やペーパータオルで包み込みながらビニール袋に入れます。
- 5 その後、汚染場所からその周辺(半径1m程度)は消毒薬を含ませた布などでふき取ります。
- 6 ふき取り場所が金属の場合は、錆びの原因になりますので、

- 7 10分経過した後、水拭きします。
- 8 処理を行った人の足の裏(靴の裏)も消毒薬でふき取りします。
- 9 最後に、身に着けた手袋、エプロン、マスクは表面を内側に折り曲げながらはずします。その後、手指を石けんで洗います。

通常は症状から診断されますが、検査診断は、迅速診断キットを用いた抗原検査や病原体の検出によります(当院での迅速キットでの検査は仕事上の都合などで必要な患者、緊急入院となる患者に対して実施しています)。

参照: 東京都感染症情報センター

## 予防のポイント

**手洗い**

トイレの後や、調理・食事の前は石けんと流水でしっかり洗いましょう。

**便やおう吐物の処理**

使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は入念に手洗いをしましょう。

**調理**

カキなどの二枚貝は中央部まで十分に加熱しましょう。調理器具は使用前後と、生ものを切った後も洗うようにしましょう。

**予防接種**

ロタウイルス(小児に多い)は任意接種が行われています。かかりつけ小児科でご相談ください。ノロウイルスの予防接種はありません。

\*1) 消毒薬の作り方【ハイター等の薄め方】(市販の漂白剤: 塩素濃度約5%の場合)  
 ▶0.02%…環境消毒に使用  
 ※トイレの便座、ドアノブや手すりなど、多くの人が触れる場所の消毒に使用します。  
 ▶0.1%…おう吐物・ふん便が付着した場合の処理に使用  
 (注) 次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させるため、金属部分に使用した場合は10分程度たったら、水拭きしてください。また、塩素ガスが発生することがあるので、使用時は十分換気をしてください。

濃度(希釈倍率)	希釈方法
0.02% (200ppm)	2リットルのペットボトル1本の水に10ml (原液をペットボトルのキャップ2杯)
0.1% (1000ppm)	500mlのペットボトル1本の水に10ml (原液をペットボトルのキャップ2杯)

**エプロンの作り方**

45ℓのゴミ袋を用意する → ゴミ袋の両サイドを切る → 開いて縦長にする → 半分に折る → 折り目側にマジックで半円を描く → 折り目ではない側は袋の端から5~7cm程に縦線を袋の半分まで描く → 線に沿って袋を切る → 丸く穴があいているところに頭を通す → 縦に切ったところは紐状になるので腰で結ぶ → 丈が長ければ膝が隠れる程度の長さまで切る

**エプロン**

【脱】エプロンの表面を内側に織り込むように脱ぐ

**手袋**

【着】服の袖口を覆うように着用し、手袋がずり落ちてきそうときは輪ゴムを手首に捲く  
 【脱】手袋の表面を触らず、表面をひっくり返すように脱ぐ

**マスク**

【着】鼻から顎までしっかり覆い、なるべく隙間をつくらぬ  
 【脱】ウイルスが付着している可能性があるためマスクの表面はさわらない

**ゴミ袋**

処理した吐物や、汚れた感染予防着が入った袋は、ウイルスが飛び散らないようにゆっくりと空気を抜き、しっかり袋の口を結ぶ

**感染予防着の着用のコツ**

より感染しにくくするために着脱時に注意すること



## 2015年10月 災害対応訓練を実施

年に1度の災害対応訓練で負傷者トリアージ（選別）を訓練しました。大規模災害が発生し、多数の負傷者が搬送されてくることを想定した訓練でした。非常時でも地域の救急病院として貢献できるように職員約100名が参加しました。



## 2015年10月 芦城クリニック 高橋和代さん（臨床検査技師）が CPAP療法士（日本睡眠総合検診協会）に認定

CPAP療法士は、睡眠時無呼吸症候群の検査や機器の取扱いに関するプロフェッショナルです。

## 2015年10月 日本心臓リハビリテーション学会第1回北陸支部地方会を開催

循環器内科 勝木達夫副院長が大会長を務め、北陸地区では初の開催となる学会でした。北陸3県の心臓リハビリテーションを行う病院から様々な学術発表があり、心臓リハビリテーションの必要性や、各施設での治療効果の検証などについて発表を行いました。

## 2015年11月 感染管理課課長 佐分稲子さんが感染制御実践看護師（厚生労働省）に認定

佐分さんは患者様やスタッフが感染症の危険から身を守るための啓発活動など、感染管理分野を担当しています。（=2-3ページの感染性胃腸炎の記事も佐分さんが担当しました。）

## 2015年11月 地域連携連絡会を開催（ホテルサンルート小松）

毎年開催している地域の医療機関との情報交換会をホテルサンルート小松で開催し、92名の方にご参加いただきました。当院の診療の特徴や得意分野について知っていただき、情報交換を行いました。



## 2015年11月 小松市の少年野球児童に野球検診を実施

小松市少年野球連盟が主催し弁慶スタジアムに、チームの指導者と保護者80名を集め、スポーツと怪我やスポーツ選手の栄養管理に関する講話を実施。また、70名の児童が肘や肩の検診を受けました。当院からボランティアスタッフとして医師をはじめ、理学療法士、診療放射線技師、運動指導員、管理栄養士などがそれぞれの職能を活かし、検診に協力しました。



## 2015年11月 循環器内科 薬物負荷心エコー検査を開始

冠動脈の予備機能を薬物負荷で測る検査です。これまでは、心臓カテーテルを使って行っていた血管の検査の一部をエコー検査でできるようになります。この検査の適応については医師の判断になりますので、循環器内科でご相談ください。

### 基本理念

**あなたの健康が私たちの願いです。**

～ Your Wellness is our dearest wish ～

世界中の人々が、お互い健康で、幸せをわかちあえるために私たちは日夜努力をつづけます。あなたの心と身体と環境を満足のゆく状態にするお手伝いをどうか私たちにさせてください。

※Wellness: ウェルネスとは身も心も、家庭や地域、環境もイキキ、はつらつとしていること。また、そうあるよう日々こころがけ、行動すること。意気軒昂、前向きに、主体的に生きる、がキーワード。

### 基本姿勢

**人を信じ、人を大切にします。**

相手を信じ、自分を信じ、お互いに信頼しあう姿勢を基に、その個性や人格を大切に、自らの最大限の力量を持ってサービスに当たることが、私たちの基本姿勢です。そのために、自らの健康・教養・品位・技術を高める努力を惜しみません。

